



1月園だより

令和6年1月4日
目黒区立大岡山保育園 園長

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、園運営にご協力いただきましてありがとうございました。新しい年を祝い無病息災で過ごせることを祈念いたします。

12月に、緑が丘児童館の職員が自園の5歳児クラスに工作のワークショップを開いてくれました。今回は2回目で「キーホルダーづくり」をしました。職員の方が万力（木をのこぎりで切るために支える道具）を用意し、子どもたちに危険の無いように注意を促しつつ、「時計の動く方向に回してね。時計の回る方向って分かるかな」と言いながらしっかりと締めるように見届けてくれます。慎重な面持ちでのこぎりを使って木を切っている様子を見ると、ドキドキしている気持ちがこちらにも伝わってきます。切り終わるとやすり掛けになります。「みんなの頬っぺたみたいにツルツルになるように磨くんだよ」と言われると子どもたちは、自分の頬を触る姿がありました。最後は自分の好きな絵をキーホルダーの板に書きます。出来上がった時にはどの子も誇らしげで嬉しそうでした。5歳児クラスも後半になり、外部の方の話を集中して聞き、伝えられた課題に対して一生懸命に取り組む姿勢によいよ小学校に行く子どもたちを見送る時期が迫っていることを実感しました。2月頃には、こちらが児童館に行つて木の車を作るイベントがあり、子どもたちは期待に胸を膨らませています。

寒い日が続きますが、身体が温まるような戸外活動を充実させ、元気に過ごせるように楽しい遊びを展開していきたいと思ひます。



1月の予定

新年を祝う会
乳児お楽しみ会
5歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
中旬 身体計測・避難訓練



2月の予定

節分
2歳児クラス懇談会
0歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
中旬 身体計測・避難訓練



保健室より

毎月1回身体測定で各クラスを回るのですが、12月はとても嬉しい身体測定になりました。1歳児クラスの計測に行くと、計測が終わった子が「せんせい、ありがとう」とふいに声を掛けてくれ、とても驚きました。そのあと、3歳児クラスに行くと、「やった。“おおきくなったかな”だ」とみんな一斉に喜んで、遊んでいる玩具を片付けて、あっという間に並んでくれました。4、5歳児クラスでは「どのくらいおおきくなった？」と自分の成長に興味をもち喜んでくれる姿が多くなっています。

4月に身長計や体重計を持って各クラスに行ったときには、0、1、2歳児クラスでは泣き出してしまふ子もいましたが、毎月行っていくことで少しずつ慣れていき、今ではほとんどの子が自分から体重計や身長計にのつて測らせてくれるようになりました。洋服の着脱や順番に並ぶことも上手になり、自分から計測をして成長を喜ぶ姿に体の成長だけではなく、心の成長も感じられた身体測定でした。

ぜひ、ご家庭でも一緒にお子さまの成長を喜んでいただけたら嬉しいです。



子どもたちが夢中になっている遊び

1歳児クラス（もも組）

子どもたちは東工大に散歩に行き落ち葉で遊ぶことが大好きです。到着すると色とりどりの落ち葉に目を輝かせ、手に取ったり踏みしめて歩いたりしながら楽しんでます。保育士が「いくよ～」と声をかけて両手いっぱいの落ち葉をフワッと投げると、保育士の動きや「カサカサ」「サラサラ」と落ち葉のこすれあう音、目の前に広がる光景に子どもたちは胸を躍らせ、両手を挙げて「きゃー」と歓声を上げます。頭上から舞い落ちてくる葉を触ろうと両手を広げて追いかける子や、保育士の真似をして落ち葉を空に向かって投げて落ち葉のシャワーを楽しんでいる子もいました。中には「先生にもかけてあげるね」と言って、しゃがんでいる保育士の頭に背伸びをしながら落ち葉を降らせ、髪を洗うイメージで遊ぶ子もいます。子どもたちの感じる「楽しい」を保育士も一緒に共有しながら、これからも季節ごとの自然と親しみ味わっていきたいです。



2歳児クラス（りんご組）

世話遊びの好きな子が、「先生、この子お熱があるの」と言って保育士のところにぬいぐるみを持ってきました。保育士が医者役になりやり取りを楽しむと、次の日は子ども同士で医者役と患者役になり病院ごっこをしています。「ここ痛いです」「はい、お薬つけるね。これ、お薬です。どうぞ」と役になりきってのやり取りも楽しそうです。興味を持った子たちも集まってきたので白衣や手作りの聴診器を用意する



と、「お医者さんだ、病院ごっこやろう」と嬉しそうに準備を始め、病院ごっこが始まります。長方形の積み木を体温計にして体温を測り「ピッ、7度です。お薬あげます」とペットボトルの薬を渡したり、細長いフェルトを傷テープにして手首に巻き付けたりするなど、治療に必要なものを玩具棚から選び、見立てながら遊んでいます。自分が経験したことや、してもらったことをイメージ豊かに再現して遊ぶ姿が見られ、“23人いたら23通りのお医者さんがいるのだろうな”と思いました。これからも子どもたちのイメージを大切にしながら、ごっこ遊びを楽しんでいきたいです。

4歳児クラス（れもん組）

園庭に出ると、鬼ごっこをしたい子どもたちが集まり、その日の気分で氷鬼やドロケイなど様々な鬼ごっこを楽しんでいます。走って逃げたり追ったりするだけでなく、逃げる子も追う子も色々と工夫をしながら遊ぶようになりました。逃げる子の中では、どうしたら捕まらないかを考え、仲間がほとんど鬼に捕まってしまうまで隠れていたり、狙われている子がいると「こっちだよ」と鬼の注意を逸らせようとしていたりする姿があります。また、鬼役の子は、捕まえた子が逃げないように鬼同士で協力し、門番を決めてから他の子が捕まえにくくなど役割分担をするようになりました。これからも、作戦を考えたり、協力したりする楽しさを味わったりしながら、友達と一緒に思い切り体を動かして遊んでいきたいです。

